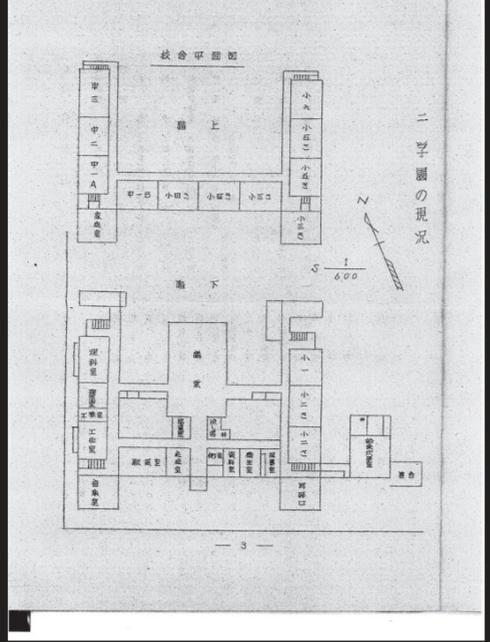


模型 野々市尋常高等小学校 縮尺 1:100

1873

▲ 校舎略平面図 1952年ごろ
石川県石川郡野々市小中学校編『布水学園の経営』野々市市立図書館蔵
(年表・参考文献)
野々市町中央公民館『野々市町二十年のあゆみ』(1976)
石川県野々市町『野々市町史集落編』(2004)



当地に所在した野々市尋常高等小学校は、明治期から昭和期にかけて地域の教育と生活の中心的役割を担ってきた。学び舎として多くの児童を送り出すとともに、地域住民の交流や行事の拠点ともなり、長い年月のなかで数多くの記憶や体験が蓄積された建築である。

野々市町域における学校教育の起源は、1873(明治6)年に開設された野々市村落小学校に遡る。同校は、瀬尾庄平宅を借り上げて男子部学校とし、水毛生伊余門宅を女子部学校として開設された。翌年には住吉小学校と改称され、布市神社境内に初代校舎が建てられた。その後、児童数の増加と校舎の老朽化により、1897(明治30)年に2代目校舎が新築され、1923(大正12)年には野々市尋常高等小学校として3代目校舎が完成した。戦後、1961(昭和36)年に町立富奥小学校との統廃合が行われ、当地における野々市小学校、野々市中学校は閉校した。

疲驂嘶布水、老僕困綿嶠。

疲驂嘶布水に嘶き、老僕綿嶠に困る。

● 1874(明治7)年
当地に小学校校舎を新築
住吉小学校と呼称

● 1892(明治25)年
野々市尋常小学校と改称

● 1897(明治30)年
2代目の校舎落成

● 1923(大正12)年
3代目の校舎落成
※今回復元した木造校舎

▼ 完成間近の三代目校舎前で撮影された記念写真 1923年3月
[D1-15] 野々市市 野々市デジタル資料館蔵



▲ 校庭で撮影された昭和11年度卒業記念写真 1937年3月
[D3-45] 野々市市 野々市デジタル資料館蔵

150 years

地域の学びと暮らしを支えた 野々市尋常高等小学校

野々市尋常高等小学校は、公民館や町役場が隣接する町の中心部に位置し、地域の中核機能を担う教育施設であった。校庭には、学級ごとの園芸活動に用いられる学級園や学級農場が整備され、児童の学習と生活の基盤として機能していた。また、教育活動は校内にとどまらず、町全体を学びの場とする取り組みが行われ、地域の教育関係団体と協働して町全体で子どもを育てる環境が形成されていた。



▲ 野々市尋常高等小学校と子ども達 「野々市町制記念絵葉書」1924(大正13年)



▲ 国土地理院撮影空中写真 1962年5月11日 [MCB-62-5_C10_0011]

● 1947(昭和22)年
学校教育法の施行により、
野々市小学校、野々市中学校と改まる

● 1956(昭和31)年3月31日
野々市中学校と富奥中学校統合により閉校

● 1956(昭和31)年3月31日
統合野々市中学校校舎本町五丁目に新設

模型制作：金沢工業大学 勝原研究室

監修：勝原基貴(金沢工業大学講師) 制作助言：諏佐遙也(ZOUZUO MODEL)
模型制作：沖田帆海、久田晴輝(制作補助：是川朋音、野呂和希) 展示什器：夢考房(岡田勲)
制作協力：内村誠治、竹内豊憲、東原守、倉剛進、語りの場にご参加いただいた卒業生の皆さま
資料協力：中村恭子、金沢工業大学施設部、池田建設株式会社、源野知子、蒲眞理子
野々市市教育委員会教育部生涯学習課



さらに、小学校は年間を通じて地域イベントの中心的役割も担っていた。講堂では演芸会やバザー(新嘗祭)が開催され、校庭では盆踊りのほか、県内四地区の中でも特に広い校庭を活かして、毎年10月に連合運動会が行われるなど、学校は地域住民の交流と活動の拠点でもあった。このように、同校は単なる教育施設にとどまらず、地域社会と強く結びついた、多機能な公共空間として重要な役割を担っていた。



● 1959(昭和34)年
金沢工業高等専門学校の前身
北陸電波高等学校開校

● 1961(昭和36)年4月1日
野々市小学校と富奥小学校統合
新校舎落成まで野々市小学校を
野々市教場として使用

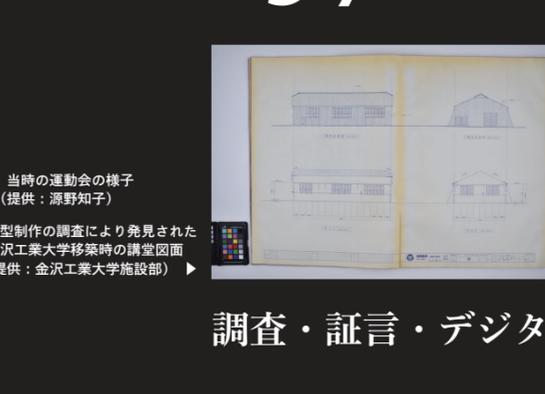
● 1961(昭和36)年11月11日
北陸電波高等学校野々市分教場
野々市小学校野々市教場の一部で開校

● 1962(昭和37)年8月31日
野々市小学校野々市教場閉校

● 1962(昭和37)年9月1日
統合野々市小学校にて
二学期から授業開始

● 1963(昭和38)年6月1日
金沢工業高等専門学校校舎
扇が丘に新設

● 1977(昭和52)年8月10日
野々市小学校野々市教場跡地に
野々市町中央公民館を新設



● 1961(昭和36)年11月11日
北陸電波高等学校野々市分教場
野々市小学校野々市教場の一部で開校

● 1962(昭和37)年4月1日
設立認可された金沢工業高等専門学校
野々市小学校野々市教場の一部で開校

● 1962(昭和37)年8月10日
統合野々市小学校校舎
本町五丁目に新設(新設野々市中学校の隣)

● 1970年ごろ
校舎解体(講堂を金沢工業大学に移築)

● 1977(昭和52)年8月10日
野々市小学校野々市教場跡地に
野々市町中央公民館を新設

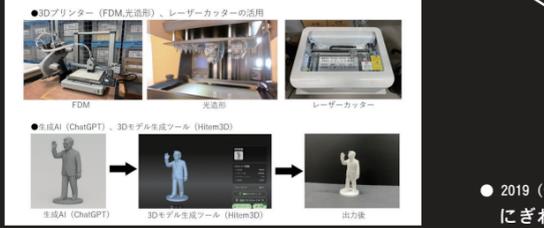
▲ 当時の運動会の様子
(提供：源野知子)

模型制作の調査により発見された
金沢工業大学移築時の講堂図面
(提供：金沢工業大学施設部)

● 2019(令和元)年
にぎわいの里のいち カミーノ開設

● 2026(令和8)年
復元模型制作

調査・証言・デジタルファブリケーション技術を融合した復元模型

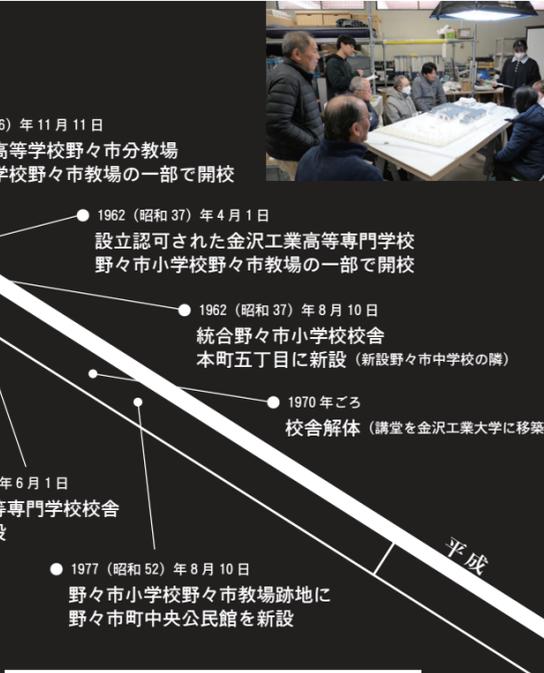


● 3Dプリンター (FDM 光造形)、レーザーカッターの活用
FDM 光造形 レーザーカッター

● IAIAI (ChatGPT)、3Dモデル生成ツール (Hibon3D)
IAIAI (ChatGPT) 3Dモデル生成ツール (Hibon3D) 出力機

● 2019(令和元)年
にぎわいの里のいち カミーノ開設

● 2026(令和8)年
復元模型制作



● 1961(昭和36)年11月11日
北陸電波高等学校野々市分教場
野々市小学校野々市教場の一部で開校

● 1962(昭和37)年4月1日
設立認可された金沢工業高等専門学校
野々市小学校野々市教場の一部で開校

● 1962(昭和37)年8月10日
統合野々市小学校校舎
本町五丁目に新設(新設野々市中学校の隣)

● 1970年ごろ
校舎解体(講堂を金沢工業大学に移築)

● 1977(昭和52)年8月10日
野々市小学校野々市教場跡地に
野々市町中央公民館を新設

卒業生の記憶からよみがえる、 かつての学び舎

模型制作の調査により、講堂移築時の図面が発見され、屋根勾配や寸法体系などを把握する上で、校舎復元における重要な手掛かりとなった。また、新聞・ラジオによる資料提供の呼びかけにより、貴重な古写真が、数多く寄せられた。制作にあたっては、レーザーカッターや3Dプリンターといったデジタルファブリケーション技術を活用している。卒業生の語りをもとに、当時の活動に即した人物モデルをAIによって生成し、3Dプリンターで出力することで、オリジナルの点景を作成している。敷地土台はすべて3Dプリンターにより造形している。

2026

● 2019(令和元)年
にぎわいの里のいち カミーノ開設

● 2026(令和8)年
復元模型制作

